

認証評価結果に対する改善報告書

平成28年7月13日

1. 大学名：八戸工業大学

2. 認証評価実施年度：平成25年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2 - 1 学生の受入れ

○工学部土木建築工学科、感性デザイン学部デザイン学科については、学科の収容定員充足率が0.7倍未満である。収容定員充足率の改善・向上方策を策定・遂行し、更なる改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目：2 - 1 について

土木建築工学科では、学生の定員未充足の改善に向けて、教育改善による学科魅力の充実、学科魅力の継続的な広報、さらに教員間の意識の共有化と迅速な対応に努めてきた。その結果、資料2-1-01～資料2-1-04の定員充足率の経年変化で示す通り、定員充足率が平成26年度0.58、平成27年度0.72、及び平成28年度0.86と徐々に増加傾向となり、改善が図られた。

感性デザイン学部感性デザイン学科では、収容定員に沿った適切な学生数の維持を図るため、当該学部学科の実状等に応じた改善を実施してきており、現在も継続中である。その結果、平成28年度は定員充足率0.58であるが、入学者数は定員の0.7(42名)となり改善の兆しをみせている。また、資料2-1-05に記載したように、平成29年度より新たに「文化コミュニケーションコース」を開設し、地域に学科の魅力をさらに伝えていくこととしている。

なお、資料2-1-06と資料2-1-07は、この間の学科の改善活動を示した参考資料である。

5 根拠資料一覧

基準項目：2 - 1の資料

2-1-01 部長会資料 (平成25年4月24日)

2-1-02 部長会資料 (平成26年4月17日)

2-1-03 部長会資料 (平成27年4月23日)

2-1-04 部長会資料 (平成28年4月7日)

2-1-05 感性デザイン学部感性デザイン学科 改善の状況

2-1-06 感性デザイン学部FDワーキンググループ資料 (平成26年度5月～平成27年度3月)

2-1-07 感性デザイン学部教育研究懇談会資料 (平成26年度、平成27年度)